はじめに

１２月に入って断続的に雪が降り、野山はすっかり雪化粧になりました。けれども、いつもより心なしか暖かく感じる冬で、降った雪も水分の多い重たい雪ばかり。きーーんと目が覚めるような寒さの冬が来ることを待つ今日この頃です。

留学生たちは１週間だけのセンター活動を経て、今年最後のホームステイでは雪遊びを満喫し、また帰ってきたセンター活動でも大掃除に誕生日会と忙しくしているうち、あっという間に冬休みの帰省を迎えました。慌ただしい１２月です。

それでも、他地域よりはだいぶ長い冬休みに入ってしまえば、今年をゆっくりと振り返る時間もとれるはず。今年できたこと、できなかったこと、そして新年になって取り組みたいことをじっくりと考えて、また新鮮な気持ちで１月に帰園してくれるのを待っています。

地域の皆さまには、今年も留学生たちを温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。１月になればまたたく間に年度末を迎えることになるかと思いますが、子どもたちを叱咤激励しながら、利賀の冬の楽しさと厳しさを子どもたちに教えていただけると幸いです。

どうぞ、穏やかでよい新年をお迎えください。

須河　紗也子

待ちに待った
雪遊び❄

【活動日程】

11／23　週末コース③(～24日)
11／28　センター活動開始
12／1　食文化体験活動参加
　　原木の切り出し
　　茅刈り
12／6　ホームステイ開始
12／13　センター活動開始
12／14　大掃除
12／15　誕生日会
12／20　帰省

凍り餅
上手にできた！

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18
南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX　：　0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

12／1　食文化体験活動参加

利賀地域づくり協議会が行う食文化体験活動に今回も参加し、冬の食文化体験ということで、保存食のひとつである凍り餅づくりを教わりました。数日前について丸めてあった大きなお餅を薄く切り、紐で結んでいきました。「どの色やればいいの？」「とうがらしのときと結び方一緒だ！」と賑やかに作業し、見た目にも楽しい凍り餅を作ることができました。昼食はつきたてのお餅をいただきました。待つ間に、講師の方が民謡の「こきりこ」を教えてくださる一幕も。地元の子どもたちと一緒に、利賀の文化を楽しむ時間となりました。

僕は、かきもち作りでは、もちを切るのが体力を使いましたが、やりきることができてよかったです。かきもちを束ねるときは、センターで前にやったとうがらしと同じやり方で意外とやりやすかったので、3つをできてよかったです。（しゅんや）

12／1　原木の切り出し

古くから冬の山仕事の一つとして行われてきた、原木の切り出し作業を行いました。2 チームに分かれ、直径 20 ㎝程の木を一本ずつ切り倒します。倒す方向に注意しながら、のこぎりで少しずつ切れ込みを入れ、無事に倒すことができました。続いて、細い枝をナタや手斧で落としていき、幹を 1m 間隔に切り分けていきます。寒い中、危険も多い体験でしたが、作業することで身体を暖めながら、怪我無く終えることができました。切り出した原木は、来年度、キノコを植菌するのに使う予定です。

12／1　茅刈り

センター裏の茅場にて、年始の地域行事である左義長に向けて茅を刈る作業を行いました。2 人 1 組になり、稲刈りと同じ要領で、鎌を使って刈り取っていきます。雨上がりでびしょびしょになりながらも、自分たちの背丈の倍近くある茅を刈り取り、束にしてまとめていきました。刈り取った茅束はしばらくの間乾かし、センターがある坂上地区の左義長で使われます。

僕は、茅刈りで、去年の経験を生かしてスムーズに茅を刈ることができました。説明のときに、腕で囲めるくらいと言われ、去年はどのくらいかわからなく困っていたけど、今年はうまく量を調節して、すぐに茅刈りができました。地域の住民として、茅刈りをすることができてよかったと思います。左義長も楽しみです。（まさあき）

12／14　大掃除

２学期も残りわずかとなり、年末の煤払いの時季ということで大掃除を行いました。３チームに分かれ、食堂、食堂前・風呂場前廊下、食文化実習室の３か所を掃除します。天井や壁の煤や埃を払い、床の汚れも入念に落としていきました。食文化実習室では、道具の整理や冷蔵庫の中の食材の断捨離なども行います。時間がかかってしまった１学期大掃除の反省を活かし、効率的かつ丁寧に作業を進め、昼までに全箇所ピカピカにすることができました。綺麗なセンターで、気持ちの良い新年を迎えることができそうです。

12／15　誕生日会

２学期に誕生日を迎えた人を祝う誕生日会を実施しました。午前中は毎回恒例のセンター内かくれんぼ大会！「もう隠れる場所ないよ～」と言いながら、なんだかんだ最後まで見つからずに隠れていました。夕方からは夕食作り。メニューはスペアリブシチュー、塩レモンチキンステーキと人参のグラッセ、フライドポテト、三段バケツゼリーです。各メニュー、時間をかけてじっくりと調理したおかげで上品な味を楽しむことができました。前日から仕込んでいたバケツゼリーは見事に三段積み上げることができ、歓声が上がります。しかし、その大量さにみんなお腹いっぱい！夕食後は人狼ゲーム大会を行い、大盛り上がりの誕生日会となりました。

たん生日会は、楽しくておなかいっぱいになりました。午前にかくれんぼをしました。かくれんぼの前に、おうき兄とそうすけ兄とめいで、かくればしょをさがしました。そのあとにかくれんぼがはじまりました。2回れんぞくで見つかんなかったのでうれしかったです。夜ごはんのりょうがいっぱいで、とてもおなかいっぱいになりました。（めい）

週末コース③　高峰山ハイク・ウォルナットクラフト

第 3 回を迎えた週末コース。今回も参加希望者多数の為抽選を行っての開催となりました。天候は残念ながら雨が降る中でしたが、高峰山の中腹から山頂へ向かって散策を行いました。すると、小雨だった雨は登っていくにつれて雪へと変わり、山頂は 3 ㎝程積雪があり真っ白になっていました。登っている最中は「まだ登るの～？」と不満げだった子どもたちも、山頂では「雪だー！」と一気にテンションが上がり、雪だるま作りや雪合戦に興じていました。

翌日は、地域の方から頂いたクルミを使って、木工のクラフトを行いました。それぞれ、ペンダントやオブジェ、ペーパーナイフなどを作り、クルミの実を潰してそこから出た油を使ってきれいに仕上げるというものです。当初は 1 時間 30 分ほどの活動予定でしたが、「もっとやりたい！」「まだ終わらない！」と子どもたちからの要望があり、昼食ギリギリまで活動を続けました。

今回、ボランティアリーダーとして、多くの利賀出身の学生や元山村留学生にご協力いただきました。いつも以上に、利賀の魅力が伝わる活動になったのではないかと思います。ありがとうございました。

保護者だより

山留のバドン

「山村留学は修園してからが本当の山村留学。」昨年度まで南砺利賀みらい留学を牽引してくださっていた山本さんの言葉が心に残っています。

山村留学生は、利賀という特別な地域に、一年という限られた時間だけ、地域の子どもとして迎えていただいています。しかし修園すれば、また新たな山村留学生が利賀にやってきます。修園後は、自分で、ただのその子として、利賀の地域やお世話になった方々や自分自身と向き合うことになります。山村留学で得た繋がりや経験をどう活かすか、そこから本当の山村留学が始まるのだろうと解釈しています。だからこそ山村留学を修園するか、継続するかは、とても重い選択なのです。

春枝は小学４年生の時に、「一旦東京に戻って、元の環境で何ができるか試したい。それで中学生でまた来たい」と決断しました。ともすると虫の良い話にもなり得るので、「もし利賀中に行きたいなら、小学校卒業までに成績でも、自分の趣味や好きなことでも結果を残すように」と厳しい条件を出しました。春枝なりに頑張って家庭内での“利賀学舎受験”を突破しての１年間です。

山村留学生たちには、たくさんの人の協力と自然や環境が繋いでいる山留のバトンを落とさぬよう握りしめ、全力で走り切ってほしいです。そして、継続生の保護者のひとりとして、自分自身も山留の保護者バトンを握っていることを忘れずに、大切に繋いでいきたいです。

Supporters' Voice

米倉 みつ子さん（ 味噌仕込み 指導 ）

Q、いなくぼのみそについて教えてください。

A、昔ながらのやり方で作っています。昔は３年みそで、３年もたせるために塩をたくさん入れていました。その後、食生活改善推進協議会というのができて、減塩するようになって、今は１～２年もつかな。おいしくて安全なのがいちばん。うちは化学調味料も全然使いません！

Q、利賀の子どもたちにメッセージをお願いします。

A、昔は子どもがたくさんいないと競争意識が育たないとも言われていましたが、私は少ない方が先生によく見てもらえて良いなあとも思っていました。といっても村にいる人が少なくなってきているので、留学生が来てくれてありがたいなあと思っています。自分からそういう気持ちになって来てくれることに感心しています。

※留学生を見守り、支えてくださっている地域の方から、メッセージをいただきます

留学生は、例年自分たちで仕込んだ味噌を、毎日の食卓でいただいています。みつこさんには、みらい留学の開始当初より、昔ながらのみそ仕込みをご指導いただいています。また、留学生にとってはホームステイ受け入れ家庭であるいなくぼのおばあちゃんでもあります。

みらい留学 定地定点

※留学生は利賀の四季を体感する定「地」定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

１２／５（木） 曇り 気温：２℃ 【雪虫】

- 冬の始まりに出てくる虫。白いわたがくっついた小さな虫でふらふらと飛んでいる姿が雪のように見える。
- 正体はアブラムシの一種で、寿命は１週間ほど。熱に弱く、人間の肌に触れると弱ってしまう。

１２／１９（木） 晴れ 気温：－３℃ 【雪明かり】

- 積もった雪の光が反射して夜でも明るく見えること。唱歌「蛍の光」の歌詞にある「蛍の光 窓の雪」は、ホタルの小さな光や窓から差し込む雪明かりで勉強してきたことをうたっている。